

2015年12月期 決算説明資料

2016年2月12日
ユニ・チャーム株式会社
代表取締役 社長執行役員
高原 豪久

この資料には、2016年2月12日現在の将来に関する、前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

アジアNo.1の強みを活かし世界シェア10%達成



2015年9月時点



世界

No.3

10.2%

アジア



No.1

24.8%


ベビーケア


フェミニンケア


ヘルスケア

世界

No.3
10.0%

No.2
9.9%

No.3
11.2%

アジア

 No.1
24.1%

 No.1
21.8%

 No.1
35.8%

※ユニ・チャーム調べ

3年連続で“マザーズセレクション大賞”を受賞 子育てをするママ1万通の自由投票からNo.1を獲得

多くのママ達から『使用感』『簡便性』『デザイン性』で高く評価されました。



2013年(第5回)
おしりふきシリーズで受賞



『ムーニーおしりふきトイレに流せるタイプ』



2014年(第6回)
紙おむつシリーズで受賞



『ムーニー』シリーズ



2015年(第7回)
紙おむつシリーズで受賞



『ムーニー』シリーズ

マザーズセレクション大賞とは：先輩ママ達が使ってよかったモノやコトを推奨する、信頼と共感の賞

日本の子育て支援・母親支援の一環として2009年に創設されました。子育て期のママ達が愛用しているアイテムの中で、『便利』『元気になる』『子育てに役立つ』など、一般のママたちからの応募(投票)の結果で選出し表彰するアワード。

2015年12月期 決算総括

● 実質10.9%増収、4.9%営業増益

✓ 14期連続増収、9期連続増益 ≫ ≫ 過去最高を更新

● 公表値未達の要因

✓ 新興国の経済環境悪化に対する対応の遅れ ≫ ≫ 成長率低下

✓ 新興国通貨安 ≫ ≫ 輸入原材料の調達コスト上昇・現法債務換算損

✓ 中国における販売チャネル変化への対応 ≫ ≫ 一時的な費用増加

✓ マーケティング・市場開発投資の増加 ≫ ≫ 重点市場への積極投資

● 株主還元

✓ 1株当たり年間配当金 ≫ ≫ 実質2.07円増配予定(12.73円⇒14.80円)

● コーポレート・ガバナンス

✓ 2015年5月より監査等委員会設置会社へ移行

✓ 2015年12月より指名委員会・報酬委員会を設置

≫ ≫ 経営の透明性と効率性向上によりガバナンスを強化

14期連続増収、9期連続増益 実質過去最高の業績を達成

■ 連結決算ハイライト

(百万円)

	'15/12月期	'14/12月期 (調整後 ※)	増減額	増減率	(参考) '15/12月期 公表値	達成率
売上高	738,707	666,258	72,449	10.9%	760,000	97.2%
営業利益 利益率	79,934 10.8%	76,227 11.4%	3,707	4.9% (▲0.6P)	86,000 11.3%	92.9%
経常利益 利益率	71,380 9.7%	79,742 12.0%	▲8,363	▲10.5% (▲2.3P)	80,000 10.5%	89.2%
当期純利益 利益率	40,511 5.5%	42,321 6.4%	▲1,810	▲4.3% (▲0.9P)	44,000 5.8%	92.1%
EPS(円)	67.55	—	—	—	73.24	—

※調整後の業績数値は管理会計ベースとなります。

売上高、営業利益は、新興国での経済成長の鈍化や、現地通貨安、在庫調整費用増加等により計画を達成できなかった。

国内では高付加価値商品の拡売により順調に成長 アジアでは市場を拡大させるための投資を積極的に実施



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

	'15/12月期		'14/12月期 (調整後 ※)		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
日本	287,135	44,499 15.5%	262,897	36,723 14.0%	24,239	9.2%	7,776	21.2% (+1.5P)
アジア	341,240	32,231 9.4%	305,575	39,232 12.8%	35,665	11.7%	▲7,000	▲17.8% (▲3.4P)
その他※	110,331	3,484 3.2%	97,786	2,422 2.5%	12,546	12.8%	1,062	43.9% (+0.7P)
消去 又は全社	-	▲280	-	▲2,150	-	-	1,870	-
連結	738,707	79,934 10.8%	666,258	76,227 11.4%	72,449	10.9%	3,708	4.9% (▲0.6P)

※調整後の業績数値は管理会計ベースとなります。

※その他・・・主な地域は、U.S.A、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

ペットケア事業は北米では収益改善できたが 国内では円安による仕入コスト増を吸収できず

■ 事業別セグメント情報

(百万円)

	‘15/12月期		‘14/12月期 (調整後 ※)		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
パーソナル ケア	647,573	76,254 11.8%	579,360	74,481 12.9%	68,214	11.8%	1,773	2.4% (▲1.1P)
ペットケア	85,624	3,329 3.9%	81,377	3,544 4.4%	4,247	5.2%	▲215	▲6.1% (▲0.5P)
その他※	5,508	330 6.0%	5,521	353 6.4%	▲12	▲0.2%	▲23	▲6.5% (▲0.4P)
消去 又は全社	-	20	-	▲2,150	-	-	2,170	-
連結	738,707	79,934 10.8%	666,258	76,227 11.4%	72,449	10.9%	3,707	4.9% (▲0.6P)

※調整後の業績数値は管理会計ベースとなります。

※その他・・・産業用資材関連商品等

前年対比で売上高+301億円、営業利益▲15億円の影響
 (営業利益は決算換算+43億円、仕入価格の上昇▲58億円)



■ 為替変動による売上高、営業利益への影響(前期は決算期変更調整後)

通貨	'15/12期レート	'14/12期レート	レート増減率
台湾(TWD)	3.82	3.50	+9.1%
タイ(THB)	3.54	3.27	+8.3%
韓国(KRW)	0.1073	0.1009	+6.3%
インドネシア(IDR)	0.0091	0.0090	+1.1%
マレーシア(MYR)	31.19	32.35	▲3.6%
オランダ(EUR)	134.31	140.39	▲4.3%
中国(CNY)	19.22	17.23	+11.5%
フィリピン(PHP)	2.68	2.41	+11.2%
サウジアラビア(SAR)	32.32	28.31	+14.2%
インド(INR)	1.90	1.75	+8.6%
米国(USD)	121.05	106.01	+14.2%
ロシア(RUB)	2.00	2.79	▲28.3%
オーストラリア(AUD)	91.06	95.52	▲4.7%
ベトナム(VND)	0.0055	0.0050	+10.0%

● 売上高・営業利益のポイント

日本

- ✓ パーソナルケア事業を中心に継続的な新価値提案によって安定成長持続
- ✓ インバウンド需要は横ばいを見込む

新興国

- ✓ インドではエリア拡大による売上伸張を推し進め年間黒字化
- ✓ 中国ではEC市場を積極的に開拓し、市場成長を上回る増収
- ✓ 中東、北アフリカ地域の安定的成長
- ✓ 換算レートは2015年度と比べ円高に想定
(平均6～7%円高設定)

● 株主還元

- ✓ 1株当たり年間配当金 ≫ ≫ 1. 20円増配予定(14.80円⇒16.00円)
- ✓ 15期連続増配

2016年12月期は為替影響を除けば2桁増収増益 過去最高更新を計画

■ 連結業績予想

(百万円)

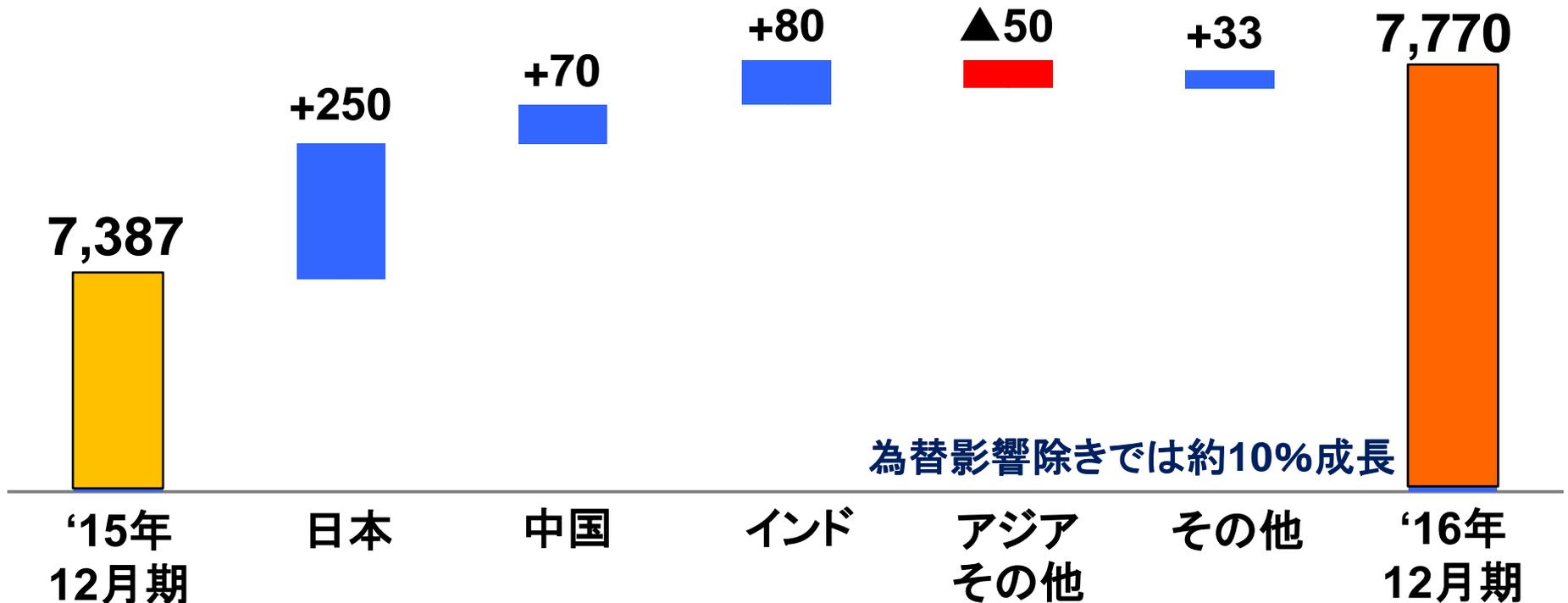
	'16/12月期	'15/12月期	増減額	増減率	摘要
売上高	777,000	738,707	38,292	5.2%	為替影響除くと <u>10.3%成長</u>
営業利益 利益率	87,000 11.2%	79,934 10.8%	7,065	8.8% (+0.4P)	為替影響除くと <u>11.8%成長</u>
経常利益 利益率	80,000 10.3%	71,380 9.7%	8,641	12.1% (+0.6P)	
当期純利益 利益率	47,000 6.0%	40,511 5.5%	6,488	16.0% (+0.5P)	法人税率は約33%
EPS(円)	78.90	67.55	11.35	16.8%	

※換算レート: '16/12月期 118円50銭/米ドル '15/12月期 121円05銭/米ドル
17円90銭/中国元 19円22銭/中国元

売上高は為替がネガティブに働くも過去最高額を計画 主要国では現地通貨ベース2桁以上の成長を計画

■ 連結売上高増減

(億円)

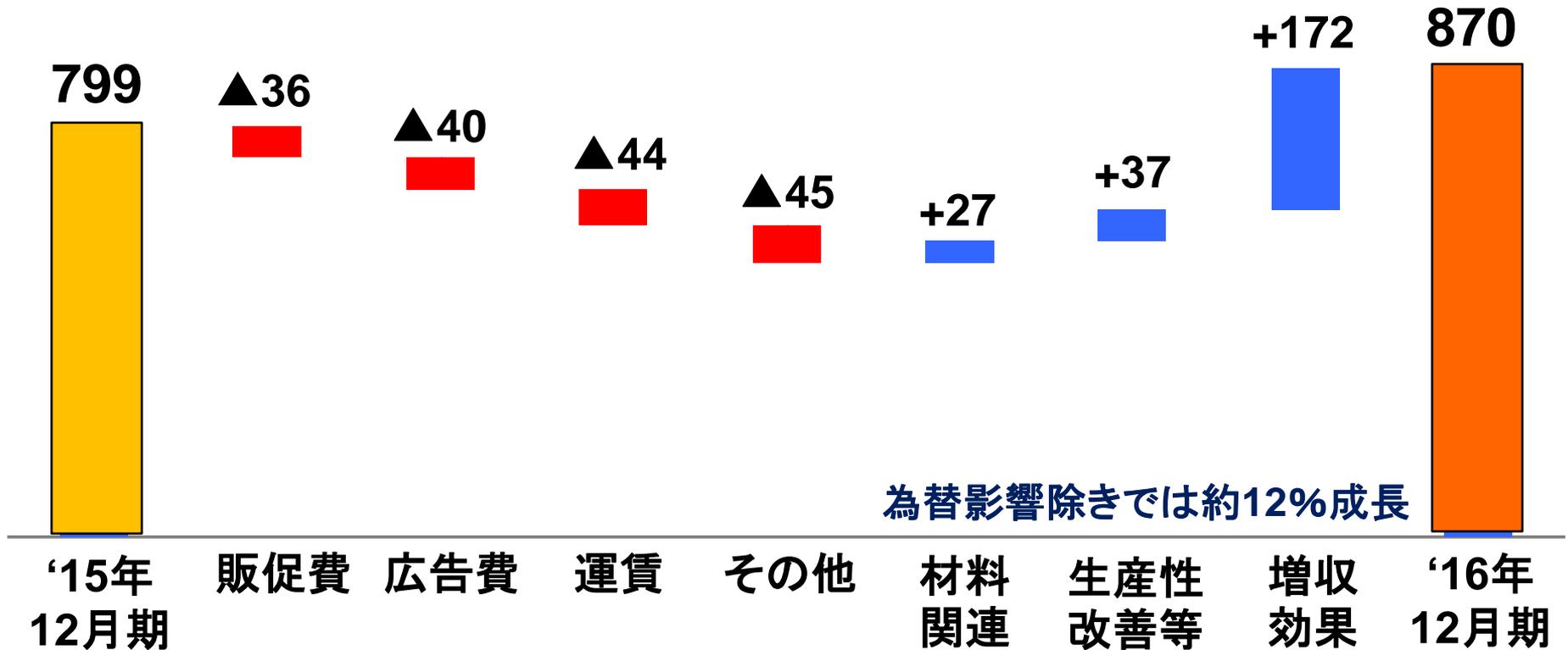


- ◆日本・・・パーソナルケアでの安定的な高成長を継続。インバウンド需要横ばい。
- ◆中国・・・現地通貨ベースで約10%の成長を計画（ベビーケア回復、フェミニンケア好調持続）。
- ◆インド・・・エリア拡大を推進し高成長を継続。強みであるパンツ型を促進。
- ◆アジアその他・・・インドネシアでは経済環境を鑑み現地通貨ベースで1桁成長を計画。

効率的なマーケティング投資による増収効果から 利益率の改善によって過去最高の営業利益を計画

■ 連結営業利益増減

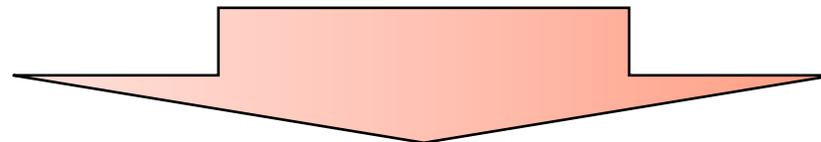
(億円)



持続的な企業価値向上に向けた成長投資をしながら フリー・キャッシュ・フロー内での株主還元を計画

■ 連結キャッシュ・フロー計画

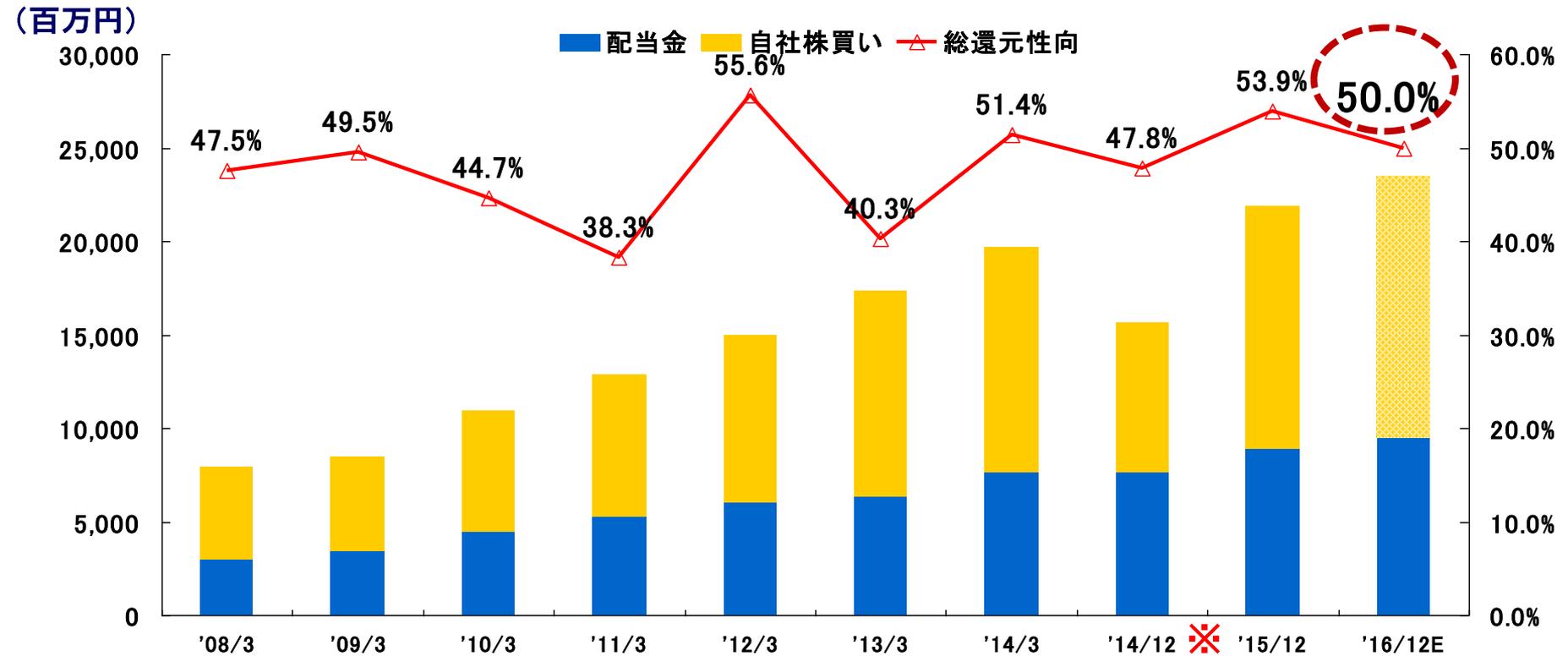
	‘16/12月期	
税引き後営業利益	収益力	620億円
減価償却費		300億円
運転資金増加額		3億円
営業キャッシュ・フロー		917億円
設備投資	成長投資	520億円
フリー・キャッシュ・フロー	創出力	397億円 ↑ 過去最高



- 継続的な安定配当 約95億円
- 機動的に自己株式取得 約140億円
- ◆ **株主還元 合計 約235億円**

業績に連動した配当と自己株式の取得により 2016年度も増配を継続、総還元性向50%を予定

株主還元政策

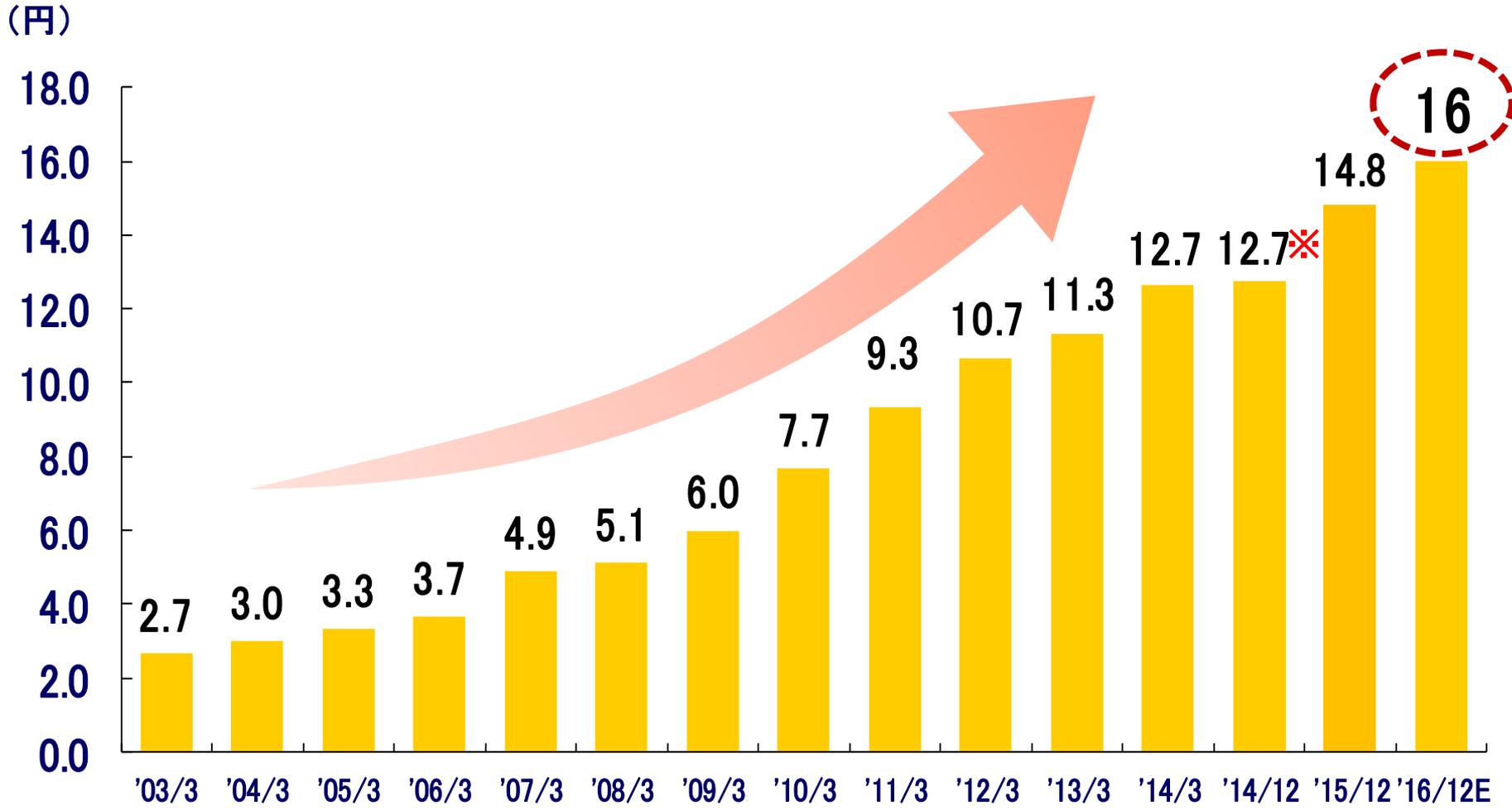


※2014年度は、会計年度9ヶ月の変則決算

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向20%目処)に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な配当を実施 15期連続増配を計画！

■ 配当金の推移



※2014年度は、会計年度9ヶ月の変則決算

參考資料

【参考】2014年度(前期)は変則決算

①2015年12月期実績と比較対象期間(「財務報告ベース」と表記)

2014年度… ◆旧3月決算法人: 2014年4月～12月 ◆12月決算法人:2014年1月～12月

	2015年度				2014年度				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
旧3月決算法人	12ヶ月					9ヶ月			
12月決算法人	12ヶ月				12ヶ月				

②参考数値の比較対象期間(「調整後」と表記 赤枠部分)

◆2015年度: 2015年1月～12月 ◆2014年度: 2014年1月～12月

	2015年度				2014年度				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
旧3月決算法人									
12月決算法人									

【参考】セグメント情報(財務報告ベース)

■ 所在地別セグメント情報(財務報告ベース)

(百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
'14/12月期 売上高	198,745	272,904	82,011	553,661	—	553,661
営業利益	27,151	32,729	1,520	61,401	▲54	61,347
'15/12月期 売上高	287,135	341,240	110,331	738,707	—	738,707
営業利益	44,499	32,231	3,484	80,215	▲280	79,934

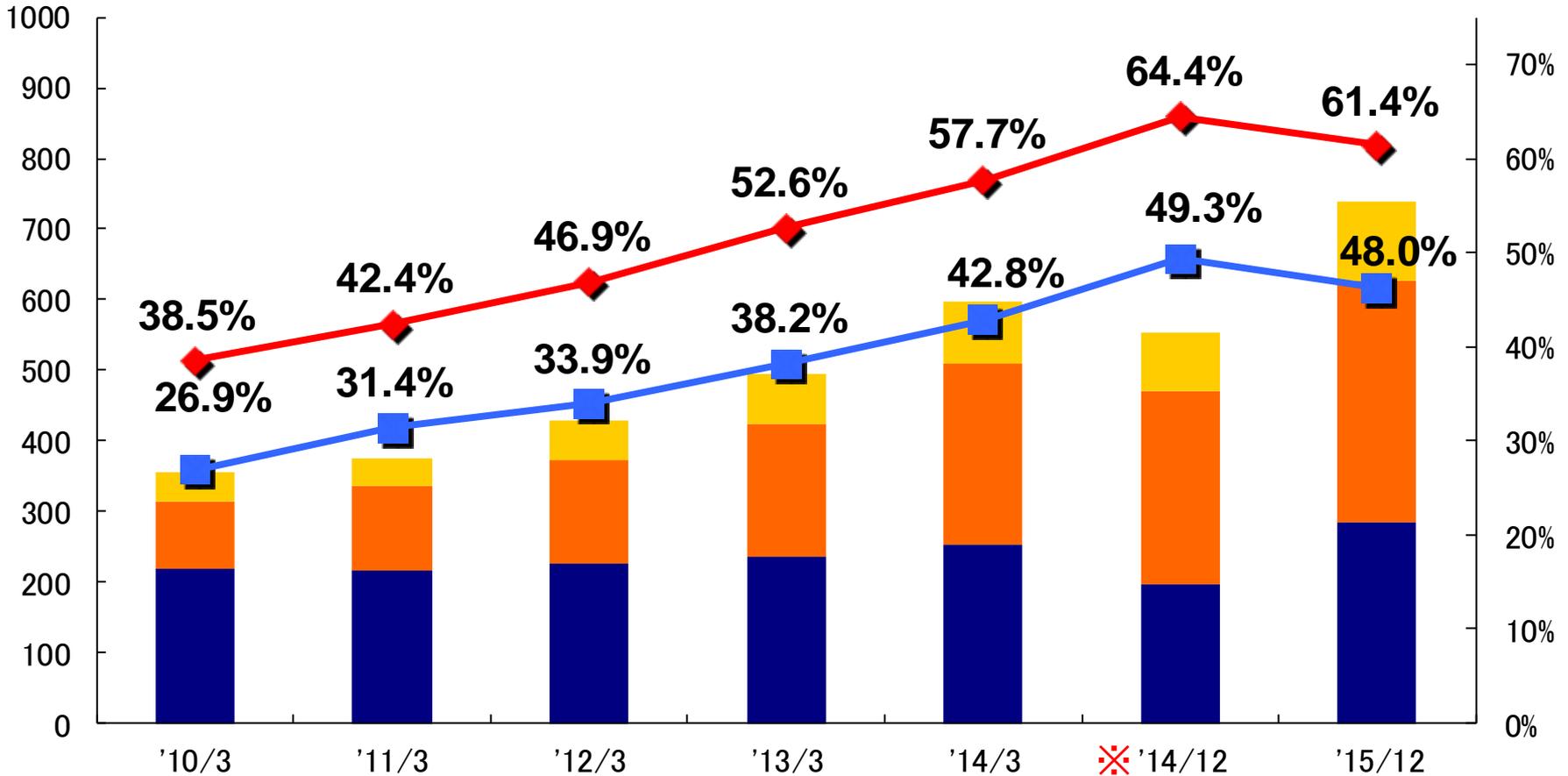
■ 事業別セグメント情報(財務報告ベース)

	パーソ ナルケア	ペット ケア	その他	計	消去又は 全社	連結
'14/12月期 売上高	486,960	62,564	4,136	553,661	—	553,661
営業利益	58,262	2,810	253	61,327	20	61,347
'15/12月期 売上高	647,573	85,624	5,508	738,707	—	738,707
営業利益	76,254	3,329	330	79,914	20	79,934

【参考】海外売上高構成比は61.4%と過去最高 (前連結会計年度は変則決算 調整後60.5%)

■ 国内・海外売上高推移(財務報告ベース)

(十億円)

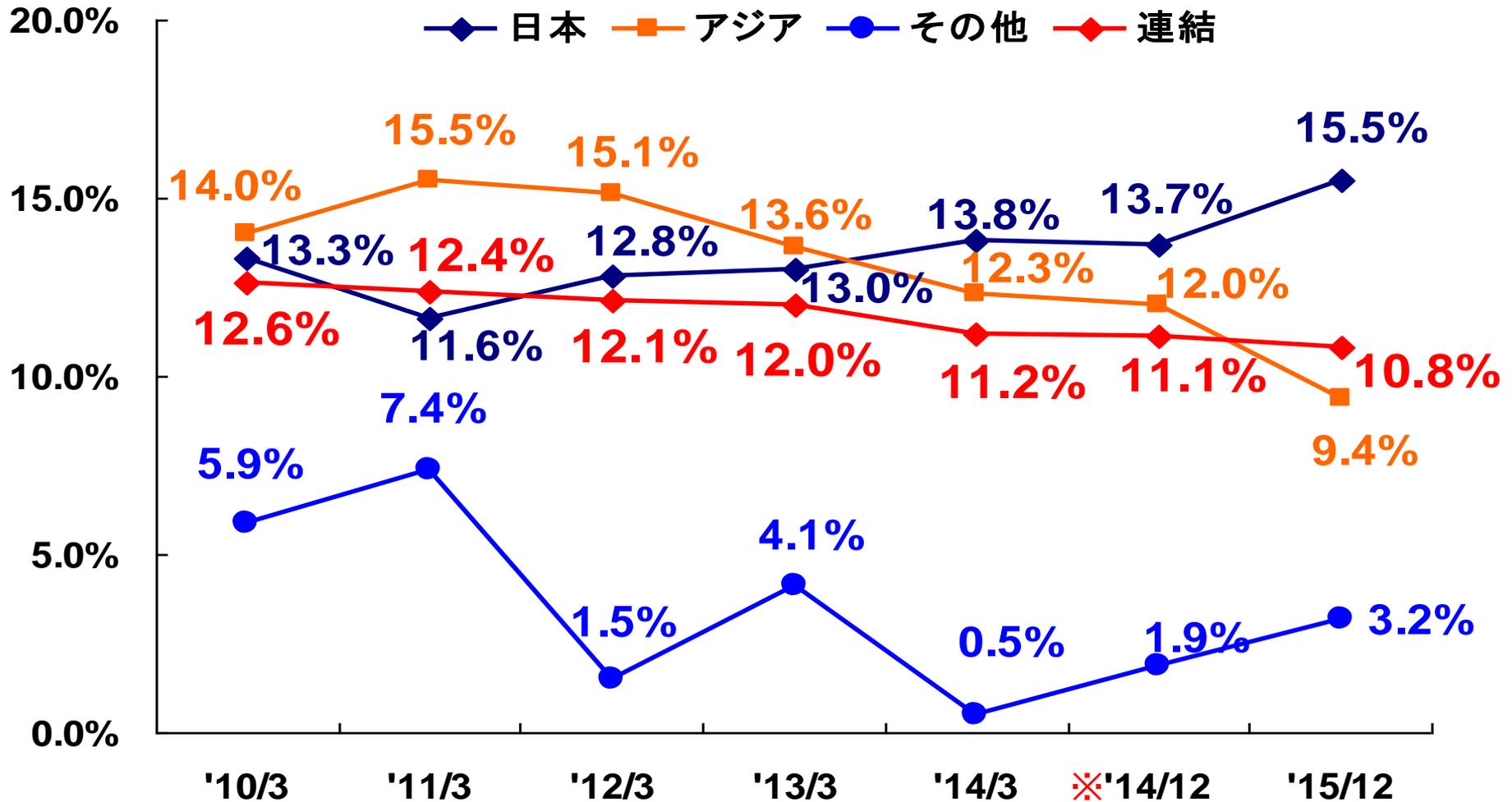


■ 国内売上(左目盛)
 ■ 海外売上アジア (左目盛)
 ■ 海外売上その他 (左目盛)
 — アジア売上高割合 (右目盛)
 — 海外売上高割合 (右目盛)

※前連結会計年度は決算期変更により変則的な決算となっております。

【参考】アジアにおいて先行的に積極的なマーケティング投資を実施 連結営業利益率は10.8%

■ 所在地別 営業利益率（財務報告ベース）



※前連結会計年度は決算期変更により変則的な決算となっております。

【参考】為替換算による対現地通貨1%円安の影響は 売上高で約30億円増、営業利益で約3億円増

通貨	16/12期 計画レート	1%変動(円安)による影響額(百万円)	
		売上高	営業利益
連結合計		3,000	300
台湾(TWD)	3.55		
タイ(THB)	3.26		
韓国(KRW)	0.0984		
インドネシア(IDR)	0.0085		
マレーシア(MYR)	27.00		
オランダ(EUR)	128.33		
中国(CNY)	17.90		
サウジアラビア(SAR)	31.53		
インド(INR)	1.77		
米国(USD)	118.50		
オーストラリア(AUD)	83.09		
ベトナム(VND)	0.0053		

※輸入原材料コスト: 対USDルに対し1%通貨安 → 約1~2億円のコスト増

【参考】前年対比で換算による為替影響は 売上高約▲380億円、営業利益約▲24億円の影響

■ '16年度 計画レート

通貨	'16/12期レート	'15/12期レート	レート増減率
台湾(TWD)	3.55	3.82	▲7.1%
タイ(THB)	3.26	3.54	▲7.9%
韓国(KRW)	0.0984	0.1073	▲8.2%
インドネシア(IDR)	0.0085	0.0091	▲6.6%
マレーシア(MYR)	27.00	31.19	▲13.4%
オランダ(EUR)	128.33	134.31	▲4.5%
中国(CNY)	17.90	19.22	▲6.9%
フィリピン(PHP)	2.50	2.68	▲6.7%
サウジアラビア(SAR)	31.53	32.32	▲2.4%
インド(INR)	1.77	1.90	▲6.8%
米国(USD)	118.50	121.05	▲2.3%
ロシア(RUB)	1.56	2.00	▲22.0%
オーストラリア(AUD)	83.09	91.06	▲8.8%
ベトナム(VND)	0.0053	0.0055	▲3.6%

ありがとうございました



ユニ・チャームは、
世界中の全ての人々のために
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供し続けます。